

南会津 のうりんニュース

ふくしまから はじめよう。

「食」と「ふるさと」新生運動

第197号(令和元年9月)

今号の写真:たかつえソバ畑ライトアップの様子

《 目次 》

●トピックス

- ・ 福島県農業賞 南会津から2法人が受賞！
 - ・ 南会津の“うんめーもの”お持ちしました！
 - ・ アロマまつりで木工・木育体験を行いました
 - ・ 第2回 おいしい ふくしまいただきます！キャンペーン
～南郷トマトをPR～
 - ・ 「会津の夏まつりin江戸」首都圏トップセールスを実施！
 - ・ 就労継続支援事業所として初！
NPO法人あたごがFGAP認証を取得
 - ・ 新規就農者激励会を開催！
 - ・ 南会津りんご直売マップが完成！
 - ・ 自動水門の現地検討会を開催しました
 - ・ エコファーマーマークの活用が広がっています
 - ・ 緑化活動関係で「ふくしま森づくり大賞」、「緑化功労賞」を受賞
 - ・ 会津地方6次化商品づくり支援事業
～より良い6次化商品を目指して！～
- ### ●農林事務所からのお知らせ
- ・ 野生きのこの出荷・販売についての注意とお願い
 - ・ 秋の農作業安全推進運動実施中！

令和元年9月26日発行 福島県南会津農林事務所

トピックス

福島県農業賞 南会津から2法人が受賞！

第60回福島県農業賞表彰式が8月27日(火)に福島市の杉妻会館にて開催されました。

南会津地域では、株式会社金子牧場が「復興・創生特別賞」を、有限会社さんべ農園は「特別功労賞」を受賞しました。

株式会社金子牧場は、自社で生産した品質の良い生乳を使ったソフトクリームやヨーグルトなど6次化商品の製造・販売を行っています。また、風評払拭を目的としたバスツアーの受入れや幼稚園



復興・創生特別賞受賞

児・小学生を対象に「食といのちの学び」をテーマにした体験活動を行うなど、地域農業の取り組みを積極的に情報発信しています。

有限会社さんべ農園は、平成13年に個人として農業賞を受賞後、法人となつてから先進的な技術を取り入れた南郷トマトの生産拡大や、地域の耕作放棄地を集積した水田の維持・



特別功労賞受賞
有限会社さんべ農園
三瓶清志さん(左) やえさん(右)

管理等を行って積極的な経営拡大に取り組んでいます。また、水あめや切り餅等の6次化商品の製造も行い周年雇用を実現しており、Iターンで就農した生産者の受入れや只見町の地域交流イベントの開催、首都圏で開催されるマルシェへの出展など幅広い活動で地域の活性化にも尽力しています。

両法人とも農業だけでなく地域全体を牽引する存在であり、今後も活躍が期待されます。(農業振興普及部)

南会津の“うんめーもの”お持ちしました！

9月11日(水)～13日(金)の3日間、東京都八王子市「道の駅八王子滝山」において、管内の道の駅・まちの駅合同での「いいもの大集合！南会津ふるさと物産展 in 道の駅八王子滝山」が開催されました。

「南郷トマト」を始めとする新鮮野菜や、数々の受賞歴を誇る日本酒、米焼酎など南会津自慢の逸品を数多く販売し、訪れた多くの方々に買い求めていただきました。

首都圏に南会津を知ってもらいたいとの思いから始まったこのイベントも今年で6年目を迎え、徐々にリピーターからお声掛けいただくようになってきました。豪華景品争奪のじゃんけん大会は毎回大熱戦、今年はGAP農産物の紹介や観光PRのコーナーも設け、

南会津をPRするよい機会となりました。お客様からは「毎年珍しい商品を楽しみにしている。」「南会津には何度も訪れている。」「南会津は知らなかったが、今後旅行してみたい。」などの声をいただき、秋のイベントとしての定着を実感し、今後の発展を期待する物産展となりました。（企画部）



じゃんけん大会の様子

アロマまつりで木工・木育体験を行いました

9月1日（日）に南会津町御蔵入交流館で開催された「第5回アロマまつり」（南会津アロマ祭り実行委員会主催）会場内において、子どもたちを対象とした「木工・木育体験」を行いました。



木工・木育体験
広場内の様子

当事業は、幼少期から木とふれあう機会を増やすことで、森林率が93%と極めて高い南会津地域の森林に関心を持ってもらい、林業で地域活性化を図っていく意識の啓発を目的に実施したものです。



木工体験

体験広場には約180名の方が訪れ、子どもたちは木製玩具で遊んだり、木の笛を製作するなどして、楽しい時間を過ごしていました。特に木製のボールプールは人気があり、木のボールは珍しい、ボールが足つぼにあたって気持ちいい、といった声が聞かれました。

当事務所では、今後もこのような体験活動や学校における森林環境学習等を通じて、地域林業への理解の促進に努めてまいります。

（森林林業部）

第2回おいしい ふくしまいただきます！ キャンペーン ～南郷トマトをPR～

8月3日（土）、道の駅きらら289にて、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催し、南会津地方特産であり、昨年度福島県農林水産物で初めて地理的表示（GI）保護制度に登録された「南郷トマト」をPRしました。

当日は日差しが強く、気温が30℃以上の真夏日となりましたが、南会津地域内外より約200名のお客様が訪れ、南会津農林事務所企画部が考案した「南郷トマトのシャーベット」の試

食、旬を迎えた真っ赤な南郷トマトをはじめとした豪華賞品が当たる抽選会、福島県農産物に関するアンケートに参加いただき、大いに盛り上がりました。



抽選会の様子

訪れたお客様の南郷トマトへの関心は高く、抽選会参加後に南郷トマトを買える場所や試食のトマトシャーベットの作り方を教えてほしいというご質問をたくさんいただきました。道の駅きらら289ではおいしい「南郷トマトロールケーキ」を限定販売しておりますので、ぜひ、お買い求めください。

次回のキャンペーンは10月19日（土）に、「道の駅しもごう」において、県育成水稲品種の「里山のつぶ」、リンゴ「ひめかみ」などのPRを予定しております。（企画部）

「会津の夏まつりin江戸」 首都圏トップセールスを実施！

J A会津よつば、会津17市町村、会津・南会津両地方振興局及び両農林事務所は、8月1日（木）～2日（金）、首都圏トップセールスを実施しました。本取組は各機関のトップと市町村長が一体となり、会津産青果物の魅力や安全性、産地の取組をPRすることで、取引拡大や価格確保、ブランド定着を目指すもので、今年で3回目を迎えます。初日の販売対策会議では、令和2年度完成を目指す広域集出荷施設をJ Aが説明し、市場関係者から大きな期待が寄せられました。2日目は豊洲市場の買参人に対して試食宣伝会を賑やかに開催し、J A事業に協力している吉本興業のお笑いコンビ、ペナルティも駆けつけ、会場は大いに盛り上がりました。その後、イトーヨーカドーアリオ西新井店に会場を移し、全市町村参加による物販の同時展開で、多くのお客さんが会場に詰めかけました。ステージイベント終了後、小池都知事を表敬訪問し、県・会津との連携強化を約束するなど、多くの成果を収めることができました。（企画部）



量販店でのPR

就労継続支援事業所として初！ NPO法人あたごがFGAP認証を取得

特定非営利活動法人あたご（南会津町）が大豆、野菜（トウモロコシ、大根）、果樹（ブル

ーベリー)でふくしま県GAP (FGAP) 認証を取得し、9月4日に南会津農林事務所の大友所長から認証書が手渡されました。FGAP認証において、農福連携に取り組んでいる就労継続支援事業所の取得は初めての事例です。



渡部理事長(中)と三木さん(左)

NPO法人あたごは、GAPの実践を利用者の安全管理と高品質な農産物生産に役立てていきたいと決意を新たにしていました。

(農業振興普及部)

新規就農者激励会を開催！

7月16日(火)、令和元年度南会津地方新規就農者激励会を開催しました。

この激励会は、新規就農者が地域農業のリーダーである指導農業士や農業生産者団体の長、さらには行政・JA等との情報交換や懇談を通して、スムーズな就農定着や地域における連携の促進を目的に、毎年開催しています。地域農業のリーダー等からは、歓迎と激励の言葉、農業経営のノウハウのアドバイス等があり、新規就農者は決意を新たにしていました。



激励を受ける新規就農者

激励会終了後は会場を移し、南会津農業青年クラブ主催で懇親会が開催されました。新規就農者を囲み活発な情報交換や懇談がなされ、大いに盛り上がっていました。(農業振興普及部)

南会津りんご直売マップが完成！

南会津地方の秋の特産品と言えば「りんご」。南会津地方では、冷涼な気象条件を生かし、各生産者こだわりの美味しいりんごが生産されています。このことを更に多くの観光客に知ってもらうため、南会津地方の果樹生産者団体と南会津農林事務所の共同で「南会津りんご直売マップ」を製作しました！

マップは道の駅や各種イベント等で配布します。皆様もぜひご覧ください。

(農業振興普及部)



自動水門の現地検討会を開催しました

6月28日(金)、南会津町高野地区、和泉田地区に設置した自動水門「田門」の現地検討会を開催し、水稻生産者、関係機関等およそ30名が出席しました。



現地検討会の様子

「田門」は設定した時間に合わせて自動的に開閉し、生産者の皆さんの水田への入水、止水作業の手間を省力化できます。

参加者からは、「水が常に入っていて気苦さが少なくなった」、「水田の数が多いと設置台数が増えるため、価格が安価だとよい」という意見がありました。7月時点の生育は手動で水管理しているほ場と同程度です。水田作業の省力化に興味がある方は農業振興普及部(電話0241-62-5262)までご連絡ください。

(農業振興普及部)

緑化活動関係で「ふくしま森づくり大賞」「緑化功労者」を受賞

6月13日(木)に開催された福島県森林・林業・緑化協会通常総会において、緑化活動関係の表彰式が行われ、南会津管内からは、NPO法人福島県もりの案内人の会 南会津支部の平野健一氏(南会津町)が「ふくしま森づくり大賞(森づくり活動部門)」の大賞を、鈴木秀明氏(南会津町)が「緑化功労者」を受賞されました。



平野健一さん(中央右)と鈴木秀明さん(中央左)

平野氏は、南会津地域を中心に森林環境学習や自然観察会のガイド、小中学校の出前講座の講師として活動されており、南会津の自然や森林と人間とのつながりの大切さを教える取り組みが評価されました。

また、鈴木氏は、森林に恵まれた館岩地区の林業振興を図るため、地元の幼稚園や小中学生などを対象に森林文化の継承や森林づくりの普及活動に努めるとともに、都市との交流事業等の取り組みが評価されました。なお、鈴木氏は東北・北海道地区緑化推進協議会緑化功労者に県代表として推薦されています。

受賞されました平野健一氏、鈴木秀明氏、おめでとうございます(森林林業部)

エコファーマーマークの活用が広がっています

「エコ農産物マークシール」とは、エコファーマーが農産物のPRのために使用できるシールです。管内のエコファーマーからも「商品に貼ったら売れ行きが良かった」と喜びの声が挙がっています。



シールを貼付したアスパラガス

県では、シールのサンプルを無料で提供（一人当たり400枚、先着順）していますので、希望する方は下記の間合せ先までお電話ください。

なお、県では化学農薬や化学肥料の施用量を抑えた農業を実践している「エコファーマー」の拡大を推進しています。まだエコファーマーになっていない農業者の皆様は、ぜひ問合せ先までご連絡ください。（農業振興普及部）

【問合せ先】農業振興普及部経営支援課
電話：0241-62-5264

会津地方6次化商品づくり支援事業 ～より良い6次化商品を目指して！～

8月27日（月）、会津若松合同庁舎であいづ“まるごと”ネットの主催による「令和元年度会津地方6次化商品づくり支援事業」第1回検討会が開催されました。



検討会の様子

この検討会は、会津地方の6次化事業者が製品の改良を目指して販売の専門家から助言を得るもので、南会津・会津両方部より6事業者が参加、量販店バイヤー等からパッケージや味などのアドバイスを受けました。

参加事業者は今回のアドバイスをもとに、今後製品の改良をしていきます。管内の6次化商品をお見かけの際には、ぜひお手にとっていただき、地元の味をお楽しみください。

<郡内参加事業者>（株）食農価値創造研究舎（南会津町）、笹屋皆川製菓（下郷町）、民宿やまかのうや（只見町）（企画部）

野生きのこの出荷・販売についての注意とお願い

- きのこの発生する時期となりました。
- 南会津管内の野生きのこの出荷制限状況は以下のとおりです。

	南会津町 檜枝岐村	只見町	下郷町
出荷制限中の野生きのこ	無し	全品目（なめこ、むきたけ、くりたけ、まいたけ、ならたけ、ぶなほりたけを除く）	全品目

※ 只見町の「ならたけ」及び「ぶなほりたけ」については、令和元年9月5日に出荷制限が解除されました。

- モニタリング検査や自主検査で安全性を確認してから出荷販売等を行うようにしてください。
- 検査結果はホームページ「福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報」（URL：<http://www.new-fukushima.jp/>）にて公表されますので御確認ください。
- 栽培きのこについても、生産者毎に毎年きのこの発生初期にモニタリング検査を行い、安全性を確認したうえで出荷販売等を行うようにしてください。（森林林業部）

秋の農作業安全推進運動実施中！

9月1日から10月31日まで、秋の農作業安全運動の実施期間となっています。

本県では、今年の8月13日に農作業死亡事故多発警報が発令されるなど、農作業中の事故が多発しており、特に高齢者の事故が急増しております。

実りの秋を迎え、慌ただしい日々が続いていますが、体調に注意しながら余裕を持った計画を立て、農作業事故に遭わないよう十分注意しましょう。合言葉は「まずはワンチェック、ワンアクションで農作業安全」です。家族や周囲の方々と声を掛け合って今年も農作業安全に心掛けましょう。（農業振興普及部）



お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>

電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。